

メイメイ



令和7年
10月

七島を揺らす足音

十月四日（土）、まだ日差しが強く差す中、トカラ列島マラソン大会が行われました。

今回のマラソン大会では、総勢百名以上の方の参加があり、大いに盛り上がりしました。

リレーチームでは「宝島OB・OGチーム」があり、島にいた山海留学生や寮生、学校の先生などが参加していました。ドラマ「裸の大將放浪記」の裸の大將を完全再現している方や白鳥のコスプレをした方、いかの王様になっていた方などもあり、今年もユーモアにあふれたランナーの方がたくさんいました。そんな方たちを見てみると応援している私たちも自然と笑顔になり、島の明るさがよりいっそう増した気がしました。

十九時からは交流会が行われました。いつもとは違う港の雰囲気、児童生徒は、皆ワクワクした様子でした。料理には十島村の特産品を用いたものがたくさんあり、味覚でも島の良さを感じてもら



うことができました。交流会の中心では表彰式や抽選会もあり、会場全体が大きく盛り上がりしました。抽選会では島の特産品セットなど豪華賞品がたくさんあり、当たった方には一生の思い出になったと思います。締めには島民によるステイールパン演奏が行われました。待機中、皆とてもドキドキした様子で緊張していましたが、本番では練習の成果をしっかりと出すことができ、見ていた方たちから、お褒めの言葉をたくさんいただきました。最後のアンコール曲、オブラディ・オブラダでは会場が一体となって盛り上がり、マラソン参加者・島民のみんなの心が一つになったように感じました。

今年の列島マラソンもランナーの方には十島村の魅力を存分に感じてもらい、大成功を収めることができました！関係者のみなさま、お疲れさまでした！

島の伝統行事

十月六日（月）、みかんたもーれ&十五夜がありました。

四時十五分から、みかんたもーれの歴史に関することやお菓子をもらいうえでの心構えについて、前田梅子さんから話を聞きました。お話によると、昔は満月が出ていないと、家を回れなかったそうです。

お話が終わってからは、みかんたもーれが始まりました。僕らのグループは、西の方のお家を回らせてもらいました。龍児先生の家では面白い渡し方をしてくれました。その後、梅子さん

の家ではみかんたもーれでの儀式を見せていただきました。

六時半からは十五夜の相撲がありました。光結さんVS楽花さんの試合で光結さんが勝つと思っていました。楽花さんの勝利で終わりました。その後に大トリの家康さんVS敦志さんの大バトルで相撲が終了しました。

今年のみかんたもーれ&十五夜も楽しい雰囲気の中、幕を閉じました。島の伝統を感じながらみんなで過ごす時間はとても良い思い出になりました。

新しいフレッゼン

みんなで仮装！

十月二十四日（金）に、後期課程生が考えた島おこしプランを、十島村役場に向けて、プレゼンテーションしました。発表には、島民の方から平田浩一さん、福島隆志さんが来てくださいました。プレゼンは、一人五分程度の短い時間でしたが、そのときの自分たちが出せる力を出せたと思います。

最後に平田さんが、島民の方に向けて、もう一度、発表する機会を設けたいと言ってくださったので、そのときは、限界を突破して、一二〇%の力を出したいと思います。

十月二十六日（日）の二時からコミュニティセンターでハロウィンパーティーをしました。みんな、いろいろな仮装をして集まりました。最初にくじを引き、グレイブチームとオレンジチームに分かれて三つのゲームをしました。まず一つ目は紙コップピラミッド競争で、チームに分かれてピラミッドを作って戻したら、次の人にパスをするというゲームで、勝ったのは、オレンジチームでした。二つ目はイントロクイズで、勝ったのはグレイブチームでした。最後のゲームは、ボウリングで倒した本数、点数になるというゲームで、勝ったのはグレイブチームでした。また、個人戦であめをかけたじゃ

